

HSK

なんれんとかち

No.47

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可
HSK通巻第420号

2007年3月10日発行
毎月10日発行 (一部100円)
(会費・協力会費に含まれています)

編集 (財) 北海道難病連十勝支部
発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会 (HSK)

- ☆ 新年会・交流会報告
- ☆ 道東支部役員研修会(厚岸・浜中)報告
- ☆ 各部会活動報告
- ☆ 2006年度十勝支部活動報告
- ☆ 拡大役員会のお知らせ
- ☆ デジタル工房からお知らせ



ばんえい競馬十勝

(財) 北海道難病連十勝支部

年頭のご挨拶

成田 愛子



2007年3月・・・です。

新年明けましておめでとうございます。

会員・ご家族お揃いで良いお年をお迎えの事とお喜び申し上げます。今年も難病連十勝支部がますます発展し皆様の笑顔を見る事が出来ますようにお祈り致します。

2006年を振り返ってみると、医療・福祉についてもあいかかわらず厳しい状況が続いています。こんな時こそ勇気を持ち、声を出し、困っている事、悩んでいる事を仲間同士が話し合い前向きに生きていきましょう。



道東地区支部役員研修会に参加して

研修(1)情勢報告(2)健康食品サプリメント(3)各支部活動報告(4)DVD学習

2006年度研修会、厚岸・浜中支部 2007年2月24日～25日

第1日目 ②健康食品(サプリメント)について・・・。

講師 寺田 豊氏 スライドで説明です。

サプリとは・・・健康食品、栄養補助食品といわれているのが一般的である。現在健康食品数多く出回っている。最初の許可から6年以上経過し、その間、健康被害が出てない食品で許可を取得している事が必要とされる。全額自己負担(薬品でないので保険の対象にはならない)自己責任あくまでも食品である事、数が多くある事、その他いろいろ考えさせられる事がありました。

第2日目 ④研修 DVD 学習「自己支援することの意味を考える」

北星学園大学社会福祉学部助教授 田中 耕一郎氏の講演が録画された DVD を見ながら学習しました。DVD の内容は、

1. 自立とは…「自助」と「自律」
2. 当初の自立生活支援を正当化する論理…「補償」と「自助の創出」
3. 当初の自立生活支援の例…「傷痍軍人」と「将来の自活に対する援助」
4. 正当化の論理に当てはまらない社会支援…「劣等処遇の原則」
5. 正当化論理への抵抗…「個人モデル」と「社会モデル」
6. 社会モデルに基づく自立支援を…「個人の克服」ではなく社会が「生活のしづらさ」を解決してほしい。
7. 社会モデルから考える労働…障害者自立支援法の問題点

となっていて、私たち患者にとっていろいろな問題が山積です。

(財)北海道難病連では DVD を貸し出していますので、部会・支部等、見ながら勉強して下さい。

厚岸・浜中 支部長 田宮滋子様

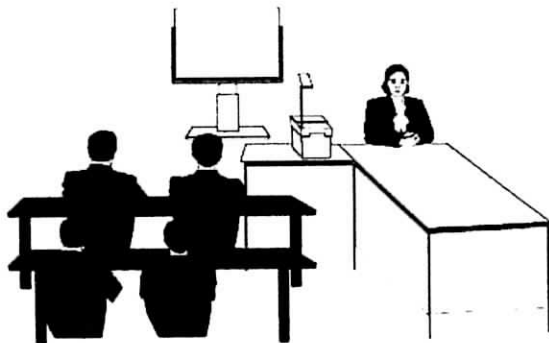
事務局長 山田澄子様

役員一同、ボランティア様、お世話になりました。

※余興…フラダンス、腹話術

懇親会…カニ・牡蠣鍋、クイズ…(??)

楽しく過ごしました。ありがとうございました。



道東支部研修会参加 45名

2006年度 (財) 北海道難病連

道東地区支部役員研修会終える

副支部長 山根 隆

2月24日(土)～25日(日)厚岸町に於いて、役員研修会が開催されました。道東地区は、釧路支部、阿寒支部、根室支部、中標津支部、標茶・弟子屈支部、厚岸・浜中支部、音更支部、十勝支部(山根、成田事務局長参加)の8支部で構成され今年度は、厚岸・浜中支部が担当で行われ50名近くの参加者でした。

役員研修会の「目的」は、財政構造改革など国の基本改革などの背景もあり難病対策も抜本的見直しが進められております。社会情勢の変化によって、弱い立場の難病患者・障害者などに対する施策は後退する方向です。この度のパーキンソン病、潰瘍性大腸炎の基準見直し案の重大性に患者自身が立ち上がると共に、側面からの支援によって厚労省を動かした事は難病連の運動を支えることの大切さを実感したところです。これからも患者・家族として情勢にどのように対応していくかを研修するとともに、情報共有と交換を行い、より確かな対策を確立して行くことを目的とします。

研修会は、厚岸・浜中支部事務局長の山田澄子さんの司会で始まり、田宮滋子支部長、北海道難病連専務理事、小田隆さんが挨拶されました。来賓として厚岸町長、若狭靖さんが福祉施策について報告と挨拶がなされ議事に入りました。

研修1、情勢報告、難病対策要綱、難病とは、難病対策の進め方、事業の種類、特定対象疾病選定の4要素、難病対策の課題について説明がなされました。続いて研修2、町立厚岸病院内科医長の寺田豊氏により「健康食品(サプリメント)について」講演されました。途中「余興」があり地元フラダンス同好会と商工会婦人部によるフラダンスと佐田菊男さんの「腹話術」でリラックスしてから研修3、各支部の活動報告がなされ1日目の研修が終了しました。

夜の懇親会では海の幸が一杯(大きな毛がにが一人一パイ、名産の牡蠣料理等)と各支部からのお土産やお酒で親睦交流をはかりました。

2日目は研修4、DVD学習「自立を支援することの意味を考える」小田専務理事から90分話され、その後2007年度行事予定を説明されました。最後に次期開催担当釧路支部の支部長佐藤信洋さんからの挨拶を受けました。昼食の時間を利用して十勝支部の山根(パーキンソン病友の会)より「特定疾患公費負担縮小」提案を許さず「現行どおり継続」が出来たその取り組みについて報告がなされ全ての日程を終え道東地区支部役員研修会が成功裏に終了いたしました。



日本オストミー協会帯広支部（やすらぎの会）

新年交流会

副支部長 山根 隆

1月27日（土）12時から、ワシントンホテルに於いて新年交流会が開催されました。司会に事務局長の坂本卓二さんにより進められ、帯広支部坂本林子支部長から昨年の取り組み報告とご協力お礼と昨年10月3日「道文化財保護協会」から会員でも有ります、小助川勝義さんが文化財保護功労賞を受賞のお話と同会員でもあります斉藤伸弘さんが2008年の北京パラリンピックへの出場に向けてご紹介とご協力の挨拶がなされました。

来賓として道議会議員の清水誠一さん、帯広徳洲会病院院長棟方隆さん、パーキンソン病友の会の山根隆、難病連の成田愛子さん、やすらぎの会・新年交流の集いの紹介と挨拶がなされ、祝宴に入りました。和やかでもあり会場はお花で飾られるなか、藤間流・藤寿会の「祝舞」が披露され、その後受賞された小助川さんからアイヌ語の披露がなされました。またパラリンピック出場に向けて斉藤選手のお父さんの紹介と賛助会員の挨拶がありその後は参加者による仮装カラオケがなされとても楽しく交流が出来ました。



難病連十勝支部とデジタル工房合同新年交流会

1月27日（土）18時から帯広市内の焼き鳥居酒屋「鳥幸」に於いて合同の新年交流会が開催されました。昨年第33回難病患者・障害者と家族の全道集会（十勝大会）を振り返り、辛かった事、楽しかった事を思い出しながら、またデジタル工房年末の年賀はがき印刷が目標の2万枚を達成した事喜びとみんなが頑張った事を話しながら、盛り沢山の料理と（本当に食べきれなくお持ち帰りしました）また飲み放題に参加者一同大満足でした。

今年4月から変わるデジタル工房の問題や難病連十勝支部の活動について話されながらも二次会へと流れてゆく人もあり大変楽しかったです。今年もご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

新年会で楽しいね！

事務局長 山根 静子

2月4日(日)帯広ブロック新年交流会が十勝川温泉国際ホテル筒井において会員・家族、来賓41名が参加して楽しく交流を行いました。司会は、山根静子事務局長で昨年の日帰り旅行、一泊旅行、全道集会参加と協力の御礼に続き、物故者への黙祷、新規加入者を紹介して新年会が始まりました。

主催者を代表して、荻原副会長が挨拶されました。特に昨年から今日まで取り組まれた「特定疾患公費負担縮小反対」の取り組みについてご協力の御礼と「継続」の喜びを共に分かち合いました、又17年ぶりに十勝で開催されました「第33回北海道難病連全道集会」の成功の御礼、一泊旅行ではアンコールで摩周湖近くの「ピュア・フィールド風曜日」の思い出が話されました。

来賓紹介では、「特定疾患問題」で大変ご協力頂きました、清水誠一道議会議員、「移動製薬者へタクシーチケット」の市との交渉にご協力頂きました、市原秀朗市議、「特定疾患問題」でご協力頂きました、清水拓也市議の紹介と難病連十勝支部、オストミー協会、坂本林子支部長からのメッセージを紹介し、玉川正雄会員の元気の良い「乾杯」で祝宴に入りました。

広い会場で美味しい料理に舌つつみしながら楽しいお喋りのなか山根隆副会長から活動報告が行われました、特に「特定疾患問題」の取り組みについて話され「患者・家族」の協力により7,000筆を超える署名と77万円もの募金額の御礼と北海道が全国の先頭に立って運動をリード出来た、また清水誠一道議のお力により政権与党の中川秀直幹事長、中川昭一政務調査会長、石崎岳厚生労働部会長へ要請が出来思いもつかないご協力を得られたことが今回の「継続」を勝ち取ったと報告があり清水道議への御礼を述べました。つづいて行事予定、御寄付の紹介がなされた後、恒例の「ビンゴゲーム」を佐藤幸子さん清水秋子さん藤崎千津子さんの各役員の協力で行いました。景品は参加者が持ってきた品物で、私の品は誰が持って行くのかワクワクしながらのゲームでした。その後カラオケに入り、若手のホープ成田政義さんの司会、荻原節子さんのコンビで次から次へと歌われ特に今回札幌から飛び入り参加されました、鳥谷部廣さんの着物姿での登場は参加者から喝采の拍手を頂きました。また新規加入されました寺井さんから挨拶と歌等がありました。最後は、塚本忠夫さんの乾杯でしめて楽しい今年最初の行事が終了致し、その後「の〜んびりゆ〜ったり」温泉につかりホテルの送迎バスにて帰りました。



又宿泊組はその後、ボーリングや卓球とラドン温泉、夜は1人「毛蟹」いっぱい付で声も出さずにもくもくと食べ静かにお酒を飲みその後はカラオケとお喋りで楽しみ二次会はスナックで思いっきり歌い「難病患者」とは思えないほど楽しみ、素晴らしい交流を行いました。

パーキンソン病友の会帯広ブロック

仲間の力が「世論」を「政府」を「行政」を動かし 「公費負担継続」を勝ち取る！

副会長 山根 隆

12月15日23時30分のNHKニュースに感動とあの喜びは忘れられない！それはパーキンソン病・潰瘍性大腸炎の「治療費補助継続」を流したのです。一瞬ヤッター、拍手と万歳と叫びました。全国の仲間から電話が入り「テレビ見た！見た！」やったね！みんなの力が「熱意」が国を動かした。夜中の2時30分まで電話がしきりに入る。興奮の坩堝である、こんなに嬉しい事はめったに味わえない。

早朝から又電話が入る「新聞見た」！朝日新聞に大見出しで出ている。内容は、治療費が公費負担の対象となっている難病のパーキンソン病と潰瘍性大腸炎について、厚生労働省の特定疾患懇談会が症状の軽い患者を対象外とする提言した事に対し、自民党・公明党は15日、全対象患者の治療費の公費負担を継続することなどを決議し、厚生労働省に申し入れた。これを受けて厚生労働省は方針を転換現在支援対象となっている患者全員を救済する方向で検討に入ったと報道されました。

昨年8月9日厚生労働省の諮問機関である「特定疾患対策懇談会」から縮小提案が発表されて以降、パーキンソン病友の会帯広ブロックは友の会北海道支部と連携をはかり厚生労働省へ抗議行動と抗議の署名行動を潰瘍性大腸炎、難病連十勝支部と連携をはかり行動を起してきました。10月6日北海道議会、10月16日帯広市議会に於いて「意見書」を全会派一致にて可決成立、全国の都府県での議会決議と国会議員への働きかけを行い、野党だけではなく政権与党にまで「藁をも掴む気持ち」で要請行動を行って来ました。新聞社への記者発表やNHKテレビの取材と全国報道へとマスコミをも活用して世論作り、運動は大きな「うねり」となり難病患者の訴えが時の政府をも動かしたのです。この自信を全ての「難病患者救済」の一步になるよう今後も運動を展開してゆく必要があります。

今日までお世話になった多くの方々に感謝を申し上げます。



街頭署名活動2006年10月1日

御寄付戴きました！

エス・バレエスタジオ

佐々木小百合 代表より

3月9日（金曜日）「エス・バレエスタジオ」代表であります佐々木小百合さんが難病連十勝支部を訪れ、106,150円のご寄付がありました。これは、3月4日（日）帯広市民文化ホールに於いて「2007チャリティバレエコンサート」を開催されました。今回の入場料、広告料などの収益金は（財）北海道難病連の活動の一助になればと話され、全額寄付させて戴きたいと直接難病連十勝支部にご持参いただきました。これまで開催されたチャリティバレエコンサートでは「ユニセフ」に寄贈されていましたが、佐々木さんは「難病連」の事をインターネットで知り、今回のはこびになった様です。



十勝支部からは山根副支部長、成田事務局長、加藤運営委員が受け、エス・バレエスタジオ代表の佐々木小百合さんに深く感謝とお礼を申し上げました。ご寄付は（財）北海道難病連と折半して大切に使用させていただく事を報告致しました。難病患者への心優しい思いやり本当にありがとうございます。最後に子供達の健全な育成とエス・バレエスタジオの益々のご発展、佐々木様のご健康とご活躍を祈念致します。

山根副支部長（左から2人目）に寄付を手渡す佐々木代表（右端）



難病連支部に10万円を寄付

エス・バレエスタジオ
コンサート 益金

エス・バレエスタジオ一帯は、佐々木小百合代表は9日午前11時、このほど開催したチャリティバレエコンサートの収益金10万6150円を、帯広市内の道難病連十勝支部（早川正弘支部長）に寄付した。同スタジオには「歳か

ら成人までの団員33人が所属し、練習の成果を発表する場として、2003年から2年に一度コンサートを開いている。これまでコンサートの収益金をユニセフ（国連児童基金）に寄付していたが、今回はより身近な地域の人に使っていただきたい。佐々木代表と同支部への寄付を決めた。

この日は、佐々木代表が同支部事務所を訪れ、山根副支部長に収益金を手渡した。山根副支部長は「本当にありがた

い。委員の交流会や署名活動などさまざまな場面で活用したい」と感謝していた。山下穂美

十勝毎日新聞より



平成18年度部会活動報告

パーキンソン病友の会帯広ブロック

月日	内 容	人数
04/08	道支部役員会、北海道難病連理事会（札幌）	1名
04/08	カラオケ同好会	12名
04/11・12	パーキンソンデー（国会請願）東京	1名
04/22	カラオケ同好会	15名
04/23	第2回全道集会実行委員会（帯広）	4名
04/28	友の会道支部「ブロック会議」「交流会」（札幌）	7名
04/29	友の会道支部第29回総会（札幌）	7名
04/29	友の会道支部主催「医療講演会」（札幌）	7名
05/13	カラオケ同好会	12名
05/13・14	北海道難病連定期総会、理事会、評議委員会	2名
05/15	難病連十勝支部役員会	1名
05/21	難病連十勝支部拡大役員会（総会）	3名
05/27	カラオケ同好会	7名
05/28	友の会帯広ブロック第14回総会	35名
05/28	友の会帯広ブロック「医療講演会」	47名
06/06	全道集会協賛広告回り	3名
06/7・10	全道集会協賛広告回り	1名
06/09	難病連十勝、音更支部合同役員会（音更）	1名
06/10	カラオケ同好会	15名
06/16	広尾保健所、難病患者への説明会（大樹）	1名
06/16	全道集会、本部打ち合わせ（札幌）	1名
06/17	全道集会、第3回実行委員会（帯広）	4名
06/18	難病連道東支部、支部長会議（釧路）	1名
06/21・22	パーキンソン病友の会第30回全国大会（東京）	1名
06/24	カラオケ同好会	15名
06/29	難病連十勝支部役員会	2名
06/30	友の会北海道支部役員会（札幌）	1名

07/01	北海道難病連理事会（札幌）	1名
07/08	カラオケ同好会	15名
07/09	友の会帯広ブロック日帰り研修旅行（然別湖）	40名
07/22	カラオケ同好会	12名
08/05・06	第33回北海道難病連全道集会（十勝大会）	30名
08/27	カラオケ同好会	15名
09/04・05	全国支部長会議（東京）	1名
09/09	カラオケ同好会	17名
09/10	難病連合同レクレーション（御影）	11名
09/23	第31回ブロック会議（札幌）	2名
09/25	道議会議長へ要請書渡し（札幌）	4名
09/29	会報「はまなす帯広」52号発行	12名
10/01	JPA全国一斉街頭署名（藤丸前）	2名
10/05・06	帯広ブロック一泊旅行（摩周湖）	23名
10/07	カラオケ同好会	15名
10/09	パーキンソン病医療講演会札幌（800名）	4名
10/16	帯広市議会傍聴（意見書可決）	3名
10/21	カラオケ同好会	15名
10/28	パーキンソン病医療講演会釧路（150名）	5名
11/11	カラオケ同好会	13名
11/17	道支部役員会（札幌）	1名
11/18	北海道難病連第153回理事会（札幌）	1名
11/25	カラオケ同好会	17名
11/25	帯広ブロック拡大役員会	17名
12/09	カラオケ同好会	15名
12/10	会報「はまなす帯広」53号発行	8名
01/27	難病連十勝支部、デジタル工房新年会	1名
02/17・20	JPA拡大役員会、学習会（東京）	1名
02/24・25	道東地区役員研修会（厚岸）	1名

十勝地方腎友会

月 日	内 容	人数
4月30日	第22回定期総会	58名
6月11日	十勝透析施設透析患者数調査	
6月25日	パークゴルフ大会&親睦交流会	33名
7月30日	広報紙花時計(29号)発完	
8月6日	難病連全道集会 腎臓部会医療講演会	119名
9月26日	腎提供者拡大街頭腎キャンペーン (署名数172名、募金額5177円)	29名
10月29日	しい茸かり (大草原の小さな家→しい茸屋関根)	43名
11月5日	臨時総会 (自立支援医療について市よりの説明会)	35名
	国会請願署名・募金の活動	全会員
	難病連、しめ飾りの販売活動	各施設
1月21日	新年会(ホテル宮崎)	20名
	後期高齢者医療制度への要望ハガキ活動	事務局
	市、町、村独自の交通費の助成状況と 介護保険改定後の患者の実態調査の実施 道の通院交通費助成改悪に反対するハガキ活動	
	三役会議 5/12(8名) 10/4(6名) 12/2(7名) 3/13(6名)	
	幹事会 6/11(22名) 9/10(15名) 10/8(18名) 12/10(21名) 3/18	

リウマチ部会

月 日	内 容	人数
4月15日	役員会 総会準備 フクハラ	2名
4月27日	役員会 総会準備 個人宅	2名
4月29日	総会 押し花作り とかちプラザ	19名
5月12日	役員会 ノースランド	2名
5月13日	全道難病連総会 札幌	1名
5月28日	交流会 北海道ホテル	16名
5月31日	役員会 押し花材料購入 六花亭	2名
6月2日	交流会 押し花作り とかちプラザ	9名
6月17日	支部拡大会議 札幌	1名
6月18日	支部総会・医療講演会 札幌	1名
6月25日	交流会 北海道ホテル	12名
7月23日	交流会 北海道ホテル	16名
8月5日	役員会 分科会打合わせ ノースランド	7人
8月5日	全道集会 レセプション ノースランド	13名
8月6日	全道集会 分科会・全体会 とかちプラザ・市民文化ホール	19名
8月27日	交流会 北海道ホテル	18名
9月24日	交流会 北海道ホテル	12名
10月4日	役員会 北海道ホテル	2名
10月22日	交流会 北海道ホテル	12名
11月17日	役員会 北海道ホテル	2名
12月2日	忘年会・医療交流 ノースランド	14名
1月28日	交流会 ノースランド	15名
2月24日	交流会 ノースランド	15名
3月15日	役員会	2名
3月25日	交流会	

小鳩会

月 日	内 容	人数
4月12日	総会（西帯広コミセン）	13名
5月16日	挨拶廻り（市障害福祉課 他4ヶ所）	3名
7月16日	親睦会（動物園、やき肉）	45名
8月5・6日	難病連全道集会 （とちちプラザ、文化ホール）	61名
10月11日	懇話会（就学前について）宮崎ホテル	15名
11月19日	救命救急法講習会（とちちプラザ）	17名
12月17日	クリスマス会（音更福祉センター）	83名
1月4日	一泊旅行（高校生から）笹井ホテル	16名
2月11日	ボーリング大会（スズランボウル）	38名
		延べ人数
	・ふるさと花コン花壇作り 5/20	29名
	・すこやか農園 5/14・9/3（帯広農業高校）	83名
	・乗馬療育（5月～10月） オビヒロホースライディング	116名
	・リトミック（就学前の子対象） 音楽教室アレグレット （年間通して）第4土曜日	59名
	・機関誌「あおぞら」年間6回発行	
	・役員会（毎月1回程度）	

膠原病友の会

月 日	内 容	人数
5月12日	交流会 ガーデنزホテル	5名
8月6日	全道集会・交流会	
11月20日	交流会 笹井ホテル	2名
2月15日	交流会 十勝ビール	5名

後縦靭帯骨化症友の会

月 日	内 容	人数
4月23日	本部役員会	1名
6月10日	定期総会	5名
6月17日	北海道難病連全道集会現地実行委員会	2名
6月18日	音更支部の「お花見会」に参加	2名
7月10日	部会支部の会報発行	
7月22日	北海道難病連全道集会現地実行委員会	2名
7月23日	「福祉まつり in 音更」に参加	1名
7月30日	日帰り交流会（阿寒湖畔）	6名
8月6日	第33回北海道難病連全道集会・分科会 （大矢整形外科医による医療講演会）	70名
9月26日	NPO 法人どんぐりの家共同作業所理事会	1名
12月3日	音更支部の「クリスマス会」に参加	2名
2月24・25日	難病連道東地区支部役員研修会（厚岸町）	1名
3月18日	音更支部の「観劇」に参加予定（十勝川温泉）	

二分脊椎症

月 日	内 容	人数
6月24日	青年部交流会参加	2名
7月29日	療育キャンプ参加	2名
30日		
8月5日	北海道難病連全道集会参加	5名
6日		
10月1日	JPA 国会請願署名	2名
3月31日	定期総会（札幌）	2名

北海道脊髄小脳変性症友の会とから連絡会

月 日	内 容
5月21・22日	北海道脊髄小脳変性症友の会とから連絡会総会
5月21日	口腔ケア講演会 北斗病院
6月20日	脊小の全道集会準備・打ち合わせ
7月7日	北海道脊髄小脳変性症会議(全道集会打ち合わせ)
7月28日	脊小の全道集会準備・打ち合わせ
8月5・6日	十勝全道集会
10月1日	釧路脊髄小脳変性症講演会 (脊髄小脳変性症リハビリ実技講座)
10月5日	交流会(徳洲会病院会議室)
11月9日	北海道脊髄小脳変性症会議
2月8日	北海道脊髄小脳変性症会議
3月9日	北海道脊髄小脳変性症会議

プラタナスの会

月 日	内 容	人数
8月5日	全道集会参加	2名
6日	〃	2名

I B D 部会

月 日	内 容	人数
10月8日	総会と交流会 グリーンプラザ	10名

事務局だより

2006年度（18年）活動報告

役員会

月 日	行 事 名	会 場	参加数
4月23日	第33回全道集会実行委員会 十勝大会準備	グリーン プラザ	36名
5月13日 14日	(財)北海道難病連総会	難病連 (本部)	3名
5月15日	支部役員会	支部事務所	10名
5月21日	十勝支部拡大役員会	とかちプラザ	18名
6月16日	第1回役員会	支部事務所	9名
6月17日	第33回全道集会実行委員会 十勝大会準備	帯広市保健 福祉センター	32名
6月29日	第2回役員会	支部事務所	8名
7月14日	第3回役員会	支部事務所	7名
7月22日	第33回全道集会実行委員会 十勝大会準備 ボランティア講習	十勝支庁 3階講堂	25名
8月9日	第4回役員会	支部事務所	12名
9月1日	第33回全道集会実行委員会 最終実行委員会 交流会	ホテル ノースランド	28名
9月7日	第5回役員会	支部事務所	7名
11月28日	第6回役員会	支部事務所	6名
2月13日	第7回役員会	支部事務所	7名
3月29日	第8回役員会	支部事務所	

諸活動・講演会・研修会・その他

月 日	行 事 名	会 場	参加数
5月21日	十勝支部講演会「自主防災について」	とかちプラザ	13名
5月28日	パーキンソン病医療講演会「言語療法」	とかちプラザ	1名
5月28日 29日	JPA総会 国会請願行動 東京	友愛会館 議員会館	2名
6月9日	音更支部と交流	木野コミセン	4名
8月5日 6日	第33回全道集会 分科会	帯広文化ホール とかちプラザ 道新ホール 福社会館	約 1000 名
9月5日	学生研修 帯広高等看護学院 学生 来所	十勝支部	5名
9月10日	合同レクレーション 収穫祭	御影・竹中農場	21名
9月13日	学生研修 帯広高等看護学院 学生 来所	十勝支部	5名
10月1日	JPA国会請願署名	藤丸前	10名
11月～	お正月飾り販売取り組み		
1月27日	オストミー部会 新年交流会	ホテル ノースランド	
1月27日	十勝支部・デジタル工房合同新年会	鳥幸	16名
2月4日	パーキンソン病 新年交流会	ホテル筒井	
2月24日 25日	道東地区役員研修会 (厚岸・浜中支部)	五味ホテル	2名

機関誌・募金箱

月 日	行 事 名	会 場
18年3月10日	機関誌発行 (No.45) 十勝支部 1050部	デジタル工房
18年9月10日	機関誌発行 (No.46) 十勝支部 1100部	デジタル工房
18年8月・19年2月	募金箱回収	

(財) 北海道難病連十勝支部・デジタル工房 拡大役員会のお知らせ

日 時 2007年 6月 3日 (日曜日)
9:30～ 受付
10:00～ 拡大役員会
場 所 帯広市グリーンプラザ A会議室
帯広市公園東町3丁目9番地1
電 話 0155-27-2325

● 十勝支部の運営を決める大事な総会です。多数のご参加をお待ちしています。5月20日までにご連絡ください。

連絡先：(財) 難病連十勝支部事務所

火曜日～土曜日 10:00～17:00

電話 (0155) 23-6602 FAX (0155) 23-7071

募金箱 設置

● ワインプラザカワイ・珈琲屋かぜ・ワイン城レストラン・モミの木
ダイイチ西8条店・中村洋品店・(財) 難病連十勝支部事務所

寄 付

エス バレエスタジオ様

募金箱、寄付ご協力ありがとうございました

デジタル工房からのお知らせ

年賀印刷目標達成

今年の冬は例年より暖かく雪も少なかったようで過ごし易かったですね。会員の皆様如何お過ごしですか？

ついこの間、新年を迎えたと思っていたら、あっという間に二ヶ月も過ぎてしまいました。デジタル工房も職員一同気持ちも新たに頑張っております。

昨年の報告になりますが、年賀はがき印刷注文が皆様のご協力により目標枚数を達成し嬉しい限りです。一昨年初めて印刷枚数が2万枚超えたのですが、最近はお家庭でもパソコンを使って自分で作成される方が増えているので、2万枚を超えることを目標に取り組みました。昨年は職員のメンバーが替わり、いままでとは違ったイメージのデザインがあったり、受講生の方にもデザインを考えてもらったりと見本帳作りにも力が入りました。新聞記事に載せていただいたことも効力を発して新規注文の方も多く、また毎年注文してくださる方も定着してきて最終的には209件・22,050枚の実績となりました。

ご注文いただいた皆様に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。この実績に満足することなく、今後もなお一層の努力をしていかなければならないと肝に銘じております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

デジタル工房では簡易印刷・名刺・はがき・ポスター・部会の機関誌等の印刷も承っております。その他印刷に関するご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

新規受講生募集中！！

デジタル工房では、ただいま新規受講生を募集しております。

「パソコンなんて触った事がない」という方、「パソコンをもっと使いこなしたい」という方「ここが解らない！」という方お気軽にお越し下さい。

受講なさりたい方は

0155-23-6699 まで

随時受付中です。完全予約制となっておりますので、まずはお電話お待ちしております。



デジタル工房との出会い

私には何度か大きな節目と挫折があった。大好きだった警察官になるため法政大学の法学部に入り、かつ小さい時からやっていた柔道に磨きをかけるため、体育会柔道部の合宿所に籍をおき、毎日稽古に励んだ。人生で一番気力が充実していたと思う。

思いもよらぬ親父の大病（胃癌で胃の全摘長期入院）のため中途退学、酒屋の跡を継ぐ。例によって放蕩の限りを尽くして昭和39年今の妻と見合い結婚、以後更正し真面目に働くも55歳の時に透析、一種一級の身障者となり二度目の挫折を味わう。

また荒んだ無頼の生活をおくるも、平成13年ひよんな事から当デジタル工房さんと知り合い、また更正し以来丸5年のお付き合いになる。

いつまで生きられるのか分かりませんが、人生の後半に大きく占めるパソコンに出会え、元支部長の山崎さん、加藤健爾さん、故西原さんそして現スタッフの皆様には心より感謝しております。

最近なんとか宝くじに当たらないかと願っております。2,000万円ぐらい寄付し、IT機器を充実し、障害者用トイレを設置し、大きくゆったりとした長いすを置き、事務所を大きく綺麗にし、職員の皆様が働きやすい「なんれん事務所、デジタル工房」にしたいものと真剣に夢見ております。

平成19年2月27日

デジタル工房受講生 平原 秀樹



2月より、P検対策でお世話になっております。

こちらでは、障害者手帳を所有されている方は無料で講習が受けられるということで最初は半信半疑で伺ったわけですが、気さくで親切な講師の方や、周りのアットホームな雰囲気ですっかり不安も無くなりました。

試験テキスト以外にも、普段から疑問に思っていることなどいろいろ教えていただけるので、とてもプラスになります。

これからも、目標達成に向けてがんばりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。 小原美知代





もうすぐここに通いはじめてから4年目に突入しようとしています。僕がこの3年間で取得しましたパソコンに関する資格はパソコン検定4級・3級・準2級と初級シスアドの4つです。通いはじめた頃はキーボードを見ながらタイピングをしていたのですが、今では見ないでもスラスラとそれをする事ができます。今はビジネス文章作成やホームページ作成、エクセルを主に勉強しています。僕がパソコンの勉強で1番大事にしていることは「継続」です。僕は目の病気をしているため1日1時間くらいしか通っていませんが、それでも毎日通って少しずつ勉強することにより大きく実力を伸ばす事ができました。僕がここまで成長する事ができましたのは、この先生方のご指導のおかげです。これからも先生方のご指導を大切に、一生懸命がんばっていかうと思っています。

松平貴弘



私が難病連支援センターでパソコンを教えるようになって、もうすぐ1年がたとうとしています。最初は[私にパソコンなんて出来るだろうか]と、とても不安でしたが、

先生達に、根気よく教えて頂きました。ワードやエクセル、やってみると[こんなに便利なんだ]と感心する事しきり、感心ばかりしてないで覚えなきゃって感じでしたが、

いつも驚きの連続でした。今は毎月葉書でお便りを作ったり、エクセルで表計算や家計簿を付けたりしています。最近
は不安も消え、楽しく出来るようになってとても嬉しいです

これからも、勉強を続けて習った事を活かしたいと思います

蓼内 裕子

7つのスローガン

- ☆国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いでください!!
- ☆全ての難病の治療を公費負担にして下さい!!
- ☆介護手当での支給と通院交通費、付添費の補助を!!
- ☆患者、障害児者の教育の選択権を親と子に!!
- ☆医療過誤、薬害を無くし被害者救済を!!
- ☆北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く!!
- ☆広く道民と手を結び明るい福祉社会を実現させよう!!



財団法人——北海道

難病連

NPO法人 尚之基金「ビリーブ」

障害者(児)・老人及び更正施設等の福祉を増進しようとする団体個人への活動支援、居宅支援・居宅介護支援サービス等の事業を行う。

1. 指定居宅介護支援事業所
2. 指定訪問介護事業所
3. 指定支援費居宅介護事業所

～ みみずくの会 ～
※支援費・介護保険から除外されるサービス。ガイドヘルプ、観光、リハビリ、イベント、親類・知人・友人宅その他・病院等の付添、話相手、除雪、排雪、営業の手伝、窓拭き等除外されるサービスに付きましては『みみずくの会』にご相談下さい。

【尚之基金「ビリーブ」事務局】帯広市西16条南6丁目11番9号
電話:0155-41-0121 FAX:0155-41-0124 休日等転送電話:090-1647-0547

HSKなんれんとかち47

第三種郵便物許可 昭和48年1月13日 2007年3月10日 通巻420号
編集人 (財)北海道難病連十勝支部 事務局長 成田 愛子
帯広市西5条南13丁目19-2 Tel:0155-23-6602 Fax:0155-23-7071
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子